

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	肝細胞癌 Low dose FP療法 (動注リザーバー)
疾患名	肝細胞癌
診療科名	消化器内科
登録医師名	寺尾 正子

臨床区分

日常診療
 単施設自主研究
 他施設自主研究
 市販後臨床研究
 治験

抗癌剤適応分類

進行・再発化学療法
 術後化学療法
 術前化学療法
 局所療法
 その他

登録日	2013年1月1日
	2017年7月5日 坂田雅浩Dr.改訂
1クール期間	7日
実施回数	/回

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日								注意コメント
							day1	day2	day3	day4	day5	day6	—	—	
2	ハイリツNaロック用100単位/mLリツツ 10n	1	本	動注	リザーバー		●	—	—	—	—	—	—	—	
3	生理食塩液	100	mL	動注	リザーバー		●	●	●	●	●	—	—	—	アイエーコール用のメイン。 シニアフューザーAとリザーバーのつなぎ目の三方活栓より投与。 ※day1～5まで 開始から終了までECGモニターを 装着すること
4	生理食塩液	100	mL	動注	リザーバー	60min	●	●	●	●	●	—	—	—	生食100mLの側管よりフィルターを通して 投与。 フルオロウラシルを止めて投与。 (備考欄1参照)
5	生理食塩液	50	mL				●	—	—	—	—	—	—	—	アイエーコール溶解用 (備考欄2参照)
6	生理食塩液	40	mL	動注	リザーバー	120h	●	—	—	—	—	—	—	—	シニアフューザーA 100mL(5日間用)を用い る。 1日あたり250mg、初日にポンプをセットし6日 目の朝に抜針する。
7	ハイリツNaロック用100単位/mLリツツ 10n	1	本				—	—	—	—	—	●	—	—	
8															

備考欄

1. アイエーコールとフルオロウラシルの同時投与は含量低下の可能性があるため不可
2. Day1にアイエーコール50mgを生理食塩液50mLで溶解し、Day1～5の生理食塩液100mLに10mLずつ分注する。Day2～5分は遮光袋をかぶせて薬剤部で投与日まで保管する。(室温、遮光保存: 4週間安定)

減量・中止基準

血球減少/症状による。
Day1-5を2週繰り返し、症状・血球の回復を待ち繰り返す。

文献

[]